

「政権実績」検証大会

ー自民党・公明党連立政権の4年間を検証するー

チーム・ポリシーウォッチ

連絡先 東京港区赤坂1-14-5-N712号室

電話 03-3560-1700

メール hkishi@kmd.keio.ac.jp

「政権実績」検証大会

新しい日本をつくる国民会議（21世紀臨調）

2009年8月2日

I. 自公連立政権の「政権運営実績に関する総合評価」

(1) 総 評

判定 45点 / 100点 (①+②)

1. 2006年に内閣が変わった時点で、同じ自民党内とは言え、実質的に政権交代があったと言わざるを得ない。安倍内閣以降は徐々に反構造改革のプロセスが進み、麻生内閣の1年でそれが決定的になった。
2. それにも関わらず、政権与党が同じであることだけで、2005年のマニフェストからの政策の修正を明示してこなかったことは、不適切ではないだろうか。
3. 2005年マニフェストの一丁目一番地は「日本の改革」であり、郵政民営化と行政改革が筆頭に挙げられていた。それにも関わらず、郵政民営化はかろうじて維持されているものの、規制改革や公務員制度改革の停滞、政策金融改革の逆行などから明らかなように、内閣が替わる度に改革への姿勢が後退していったことは、政権運営実績を評価する上では大きなマイナスとならざるを得ない。

(2) 要素別評価

①【内閣の運営に関する責任】

判定 30点 / 60点

評価の理由 (着目点・事実関係等)	内閣の運営の要は、官邸主導を実現できるかどうかであるが、諮問会議の地盤沈下、与党の発言力の増大、官僚主導の政策決定などの事実を見る限り、年を追う毎に内閣の運営がおかしな方向にブレていったと言わざるを得ないのではないか。
----------------------	---

②【政権公約のサイクル形成に関する責任】

判定 15点 / 40点

評価の理由 (着目点・事実関係等)	安倍政権以降、2005年マニフェストは軽んじられてきたと言わざるを得ない。特に郵政造反議員の復党後は、郵政民営化という事実さえ守れば後はどのような政策修正でも出来るかのような対応が多過ぎたのではないか。
----------------------	---

Ⅱ. 自公連立政権の「政策実績に関する総合評価」

(1) 総合評価結果

判定 45点 / 100点 (①+②+③)

①【実績】

判定 25点 / 50点

評価の理由 (着目点・事実関係等)	昨年秋からの経済危機という、政権にとっては不幸な要因もあったが、それにしても経済政策の面での2005年マニフェストからの乖離、改革逆行はひど過ぎたと言わざるを得ない。経済危機への対応にしても、財政出動の規模やスピード感はある程度評価すべきであるが、内容を官僚任せにした結果、「百年に一度の経済危機」を言い訳にした過剰な政府介入やバラマキが横行し、いよいよ2005年マニフェストとは真逆な道を辿っている。
----------------------	---

②【実行過程】

判定 10点 / 25点

評価の理由 (着目点・事実関係等)	小泉内閣当時は、官邸のリーダーシップが政策プロセスの特徴であったが、内閣が替わる毎にそれがどんどん後退していき、今年4月の補正予算では遂に完全な官僚／族議員主導に逆行してしまったように見受けられる。
----------------------	---

③【説明責任】

判定 10点 / 25点

評価の理由 (着目点・事実関係等)	2005年マニフェストの追加・修正・転換などのアナウンスは一度も行われていない。最近は「百年に一度の経済危機」という呪文を唱えれば何でも許されるかの風潮になっており、憂慮すべきではないだろう。
----------------------	--

(2) 政権の自己評価に関するコメント・比較(記述式)

別紙. 連立政権の政策分野別実績評価（総合評価積算資料）

評価項目：郵政民営化

判定50点／100点

	実 績	実行過程	説明責任
採 点	25点／50点	15点／25点	10点／25点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	西川体制となって日本郵政自体は非常に頑張って来た」と評価できるが、鳩山元大臣の不当な介入など、政府の側はぶれ続けたのではないか。	西川社長以下の働きは評価すべきであるが、政府の側は、一部官僚の暗躍など、決して評価できない。	かんぽの宿問題などに象徴されるように、説明が不十分であるために一層混乱を招いた面が大きい。

評価項目：歳出・歳入一体改革

判定40点／100点

	実 績	実行過程	説明責任
採 点	25点／50点	10点／25点	5点／25点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	経済危機への対応で財政規律が緩んだのはやむを得ないが、歳出改革までもが中途半端になってしまっている。	経済危機を言い訳に政官が一致して改革を放棄して、安易に増税に走ろうとするのは問題。	不十分。官僚が用意したい加減な試算を公表するだけでは説明とは言えない。

評価項目：行政改革

判定15点／100点

	実 績	実行過程	説明責任
採 点	10点／50点	5点／25点	0点／25点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	公務員制度改革も規制改革もすべて中途半端。改革放棄が鮮明。	官僚や族議員を全く抑えられなかったのではないか。	まったく不十分。

評価項目：地方分権改革

判定40点／100点

	実績	実行過程	説明責任
採点	20点／50点	10点／25点	10点／25点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	地方分権改革推進委員会はかなり頑張ったが、官邸のリーダーシップが決定的に欠如していた。	委員会任せになり、官僚などの抵抗を抑えられていないのではないか。	政策的にもっとも難しいテーマにも関わらず、官邸が積極的に説明しなかった。

評価項目：社会保障制度改革

判定40点／100点

	実績	実行過程	説明責任
採点	20点／50点	10点／25点	10点／25点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	厚労大臣は、大胆な改革はしないで官僚組織を非難することが多かったように思える。官邸もそれを放任したのではないか。	問題が発覚する度に、官僚主導でその場凌ぎの対応をするばかりだったのではないか。	不十分。官僚を非難するだけだったように見受けられる。

評価項目：産業の成長力強化

判定20点／100点

	実績	実行過程	説明責任
採点	15点／50点	5点／25点	0点／25点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	環境など一部に関してはよくやったと評価できるが、それ以外では民間の力を弱める政府介入だらけになり、モラルハザードが蔓延。	明らかに官僚主導であり、それを官邸は抑えるどころか追認していただけではないか。	「百年に一度の経済危機」という呪文を唱えれば何でも許されるかのような対応は論外。